

ちよだ 区議会だより

CHIYODA CITY
ASSEMBLY NEWS



No.270 令和6年11月29日

編集：区議会だより編集委員会 発行：千代田区議会
〒102-8688 千代田区九段南1-2-1
☎03-5211-4297(直通) FAX 03-3288-5920

令和6年
第3回 定例会

会期：9月12日～10月17日の36日間

目次

- 代表質問…………… 2～3面
- 一般質問…………… 4～5面
- 定例会活動報告 …… 6～8面
- 本会議における討論等 …… 9面
- 委員会で取り扱った請願・陳情等…10～11面
- 議案の審議結果等 …… 12面

トップニュース

TOP NEWS

令和5年度

各会計歳入歳出決算を認定

令和5年度 千代田区各会計歳入歳出決算額

会計	歳入	歳出	差引額
一般会計	741億2,408万1,276円	713億9,522万7,496円	27億2,885万3,780円
国民健康保険事業会計	69億2,054万6,046円	55億3,009万8,828円	13億9,044万7,218円
介護保険特別会計	47億4,342万2,714円	44億2,294万7,628円	3億2,047万5,086円
後期高齢者医療特別会計	20億6,064万8,783円	19億6,696万3,27円	9,368万8,456円
合計	878億4,869万8,819円	833億1,523万4,279円	45億3,346万4,540円

予算・決算特別委員会 (分科会)における 議案の調査

決算の認定に係る議案は、全議員で構成する予算・決算特別委員会に審査を付託され、3つの分科会で詳細な調査が行われました。各分科会の主な調査事項は右記のとおりです。

決算の認定とは

予算執行が適切かつ効率的であったか、区民福祉の向上のためにどのように施策が展開されたか等について、議会が区の決算を審議し、認定することをいいます。

千代田区議会では、次年度の予算編成に決算の審議内容を反映させるため、第3回定例会で行っています。

企画総務分科会

議会費、地域振興費、総務費、職員費、公債費、諸支出金、予備費を調査

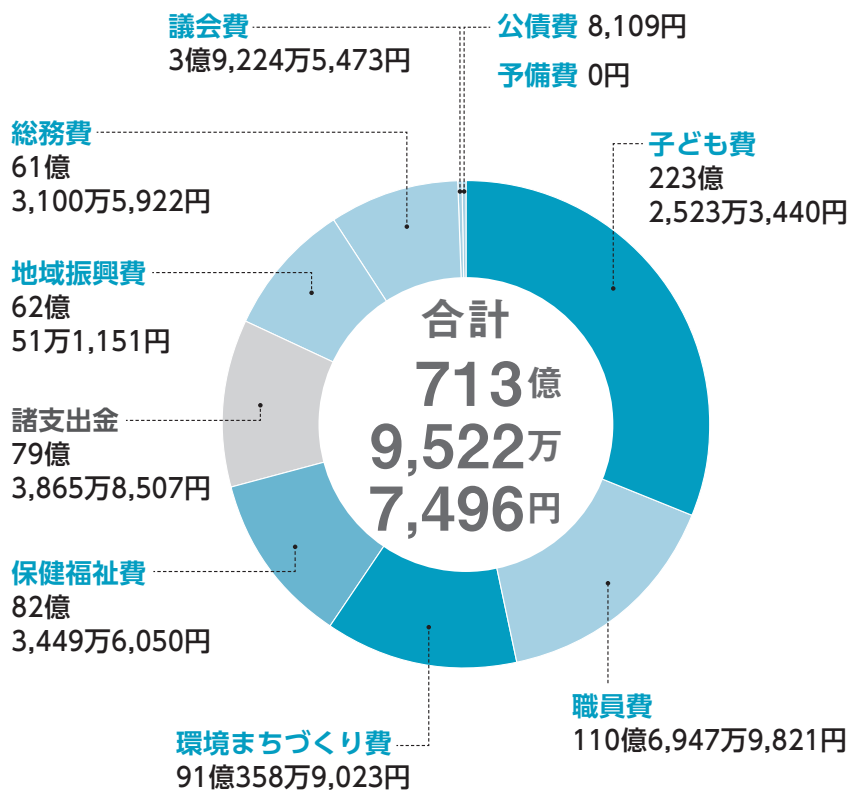
文教福祉分科会

子ども費、保健福祉費、諸支出金、国民健康保険事業会計、介護保険特別会計、後期高齢者医療特別会計を調査

環境まちづくり分科会

環境まちづくり費を調査

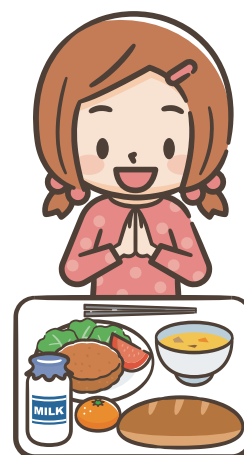
一般会計歳出の内訳



令和6年度

一般会計補正予算第2号を可決

補正前の額「699億1,663万4,000円」に、「1億6,274万5,000円」の予算額を追加します。内容は、「幼稚園給食」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」の各事業に要する経費の追加です。この結果、補正後の一般会計予算額は、「700億7,937万9,000円」となります。また、債務負担行為の補正として、「(仮称)四番町公共施設整備」に係る令和7年度から令和8年度までの債務負担行為として「75億7,066万3,000円」を追加します。



Q&A

代表質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

#次世代・都民ファースト・立憲の会 小野 なりこ



R7年度予算編成方針～地域コミュニティ支援～

問 地域を越えた取組みは新たなつながりを生み出す。他の地域にもアイデアが伝わり新たな活動が生まれるきっかけづくりの先導を。

答 テーマ共有による全区的な連携は更なるコミュニティの活性化や町会のプレゼンス向上につながる可能性がある。コミュニティ活動の担い手の意見も伺いながら連携の在り方を検討していく。

動物との共生～ドッグランの検討と課題解決策～

問 ①公的ドッグラン設置は動物との共生施策として可能な限り進めるべきだが、飼い主のマナー等の問題解決も同時に必要。検討状

況は②在宅避難やペット同行避難の備えを促す一層の取組みを。

答 ①区独自の取組みとしてドッグラン整備を検討している。飼い主のマナー向上等はSNS等の活用も含め方策を検討②理解促進に向けて更なる取組みが必要。広報紙掲載等を検討し周知に努める。

ヒートアイランド対策を活用した地域交流の創出

問 ヒートアイランド対策は都市型菜園で在住者とビル勤務者の交流を視野に入れた屋上緑化等、豊かな都市化を共創しながら新たな価値を創出する取組みも可能。今後の同対策の助成の方向性は。

答 屋上緑化のアーバンファーマー等、地域コミュニティ活性化の観点も含めた助成制度の運用を関係部署で連携し検討していく。



出所：議員本人提供

千代田区議会 自由民主党 小林 たかや



官製談合と斡旋収賄事件の対応と区政への影響

問 区は今回の不祥事に再発防止委員会と有識者会議で対応した。区長は第三者委員会を設置するとしていたが、具体的な時期は。

答 先般の報告書をもって調査は尽くされていると認識しており、第三者委員会の設置予定はない。今後は報告書で示した再発防止策を念頭に、全庁を挙げて強い決意の下で取組みを進めていく。

区議有罪判決後の今、第三者委員会設置し検証を

問 第三者委員会という外部の目で厳格な調査を行い、隠蔽や不正を防ぎ問題の本質を問うべき。区長は記者会見で第三者委員会を

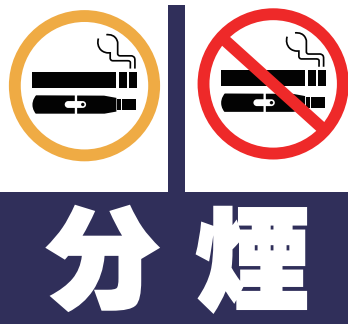
設置する予定だと発言したのに、なぜどこで方針が変わったのか。

答 報告書をもって調査は尽くされたと認識しており、重ねて第三者委員会を設置する予定はない。今回の調査は事案解明と区の対策立案が主眼で、その目的や方針は当初から変わっていない。

通学路上の喫煙所による健康被害の解消対策を

問 ①通学路上に存在する喫煙所の数は②児童生徒への受動喫煙の影響をどう考えているか③既存・新設で対策を分けて考えるべき。

答 ①21か所②設置事業者に通学時間帯の運営制限等の協力を依頼③新設時には事業者に通学時間への配慮を要請する。既存施設では空気清浄機の更新等の助成により環境整備に取り組んでいく。



千代田区議会自由民主党議員団 白川 司



二元代表制における区長の役割をどう見るか

問 区長は区民の意見を細やかに聞くと評判だが、職員との意見交換も密にして、区全体の利益を考えたバランスのよい区政を目指してほしい。二元代表制における区長の役割と区政の理想を問う。

答 執行機関の統轄者として地域を肌感覚で知りつつ広い視野で決断するもの。時代の潮流を見極め大きな視点で施策を進めたい。

公務員志望者減少に対する区の対策の必要性

問 高い区政レベルの維持には、優秀な職員の確保が必須。特に職員の待遇向上を重視すべきで、職員住宅の拡充は災害対策等にも有

益である。区は志望者減少をどう分析し、対策をしているか。

答 特別区全体で採用試験の負担軽減に取り組んでいるほか、区独自で職員住宅も計画的に増設。他区の事例も参考に検討を進める。



ガバメントクラウド統合の遅れと区のDX政策

問 ①国のガバメントクラウドの進捗は芳しくなく、想定していた効率化すら危うい。政策への評価は②DX戦略をどう進めていくか。

答 ①国が示すメリットと同様の認識である一方、経費が一部不透明で特別区長会として全額国庫負担を求めている。また、早期移行団体検証事業に参加し令和7年度中の移行を進めていく②地域のスマート化を一層推進し、生活の質の向上を実感できるDXを目指す。

Q&A

代表質問 (要旨)

議事録は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

公明党議員団

米田 かずや



令和5年度決算と来年度予算と基金の活用

問 ①決算を総括し現状と課題をどう分析したか②長期的な財政運営において基金から重点分野への財政投入の具体的な想定は。

答 ①歳入事務の着実な執行で全会計の実質収支黒字を確保し財政運営は健全。一方で不用額100億円超は継続的な課題。予算額の精査に鋭意取り組む②各施設整備への活用や基本構想の実現に向けて着実に歩みを進めるため効果的に活用すべく予算編成していく。

認知症施策について 早期発見予防、徘徊対策

問 ①診断後早い段階で情報共有等ができるようインターネット

での交流も含めた地域での認知症ピアサポートの環境整備が重要②GPS端末活用に向けた負担軽減策の実施やQRコード記載シールの普及等、認知症での行方不明者の生命を守る取組みを推進すべき。

答 ①現在は認知症カフェ等を開催。今後の運営状況を踏まえ研究していく②様々な製品や他自治体事例から有用性を研究していく。



岩本町、東神田地区の都有地について

問 都有地の陥没が度々起こり対策を必要とする箇所が多数あるが、区は把握しているか。現地調査や早期修繕対応を都に依頼しては。

答 区民からの通報や区の巡回で不備等を確認した際は都に迅速な対応を要請。点検と必要な対応を速やかに講じるよう求めている。

ちよだの声

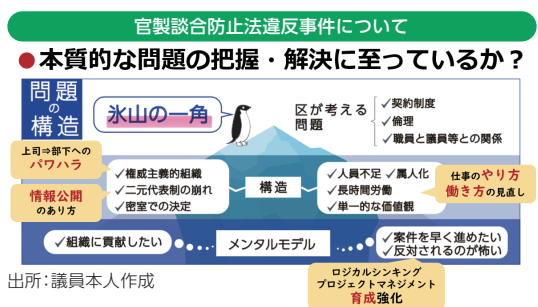
はまもり かおり



官製談合防止法違反事件について

問 ①議員対応記録の実施対象者に区長・副区長・教育長も含まれるのか②区長等が公益通報対象の場合の業務フローは③全職員を対象に毎年無記名形式で職員意識調査を実施する必要がある。

答 ①地方公務員法が適用されない区長等の特別職には適用しない②区長への報告が不当と認められる場合、行政監察員は区長に報



告せずに調査が可能③今後も必要があれば適宜調査を実施する。

開かれた区政について

問 ①定例会ごとに区長の記者会見を実施しインターネットでも配信を②全ての協議会等で委員名の公表が必要。男女平等推進区民会議で各附属機関の女性委員割合を示した資料が削除された理由は。

答 ①記者会見は施策等を伝える方法の一つ。様々な方法を通じて情報提供に取り組む②会議情報の公表は附属機関等の意見を尊重して行っており、当該会議ではその趣旨から区の判断で削除した。

ヒートアイランド対策について

問 「水」「風」「緑」が大事であり、水面を増やす、風の道をつくる、街路樹や公園を増やすことが必要である。区の見解を伺う。

答 良好な水域の保全、公園に加え屋上等の緑化、それらとの相乗効果による風の道等、計画で示した対策を様々な推進している。

日本維新の会千代田議員団

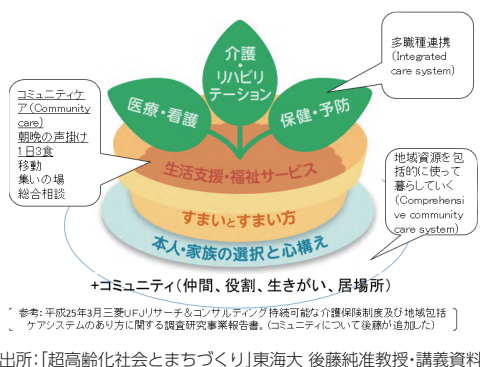
春山 あすか



健康社会の実現と地域包括ケア

問 高齢者も健康に生活し続けられる仕組みや場づくりの必要性や既存施設の利活用をどう考えるか。分野横断的な連携も必要では。

答 社会貢献活動の場の提供を鋭意検討し地域包括ケアシステムの充実を図る。また、部署の垣根なく一体的な組織運営に努めていく。



豪雨や災害時の停電対策等の環境政策について

問 ①地域単位での雨水流出抑制やレインガーデンの設置等グリーンインフラ推進の取組みは②電力を地産地消する地域マイクログリッドの活用等、災害時のエネルギー対策にどう取り組むのか。

答 ①雨水浸透ますの設置等を推進しており、今後は都とも情報を共有しグリーンインフラの整備を検討②都市部では再エネの潜在能力に課題。効果的な再エネ創出等、エネルギー政策を検討する。

住環境に視点をのいたこれからのまちづくり

問 ①区は今後、住環境政策にどう取り組むか②住環境の向上には住宅地の道路を人の空間に戻す街区内道路の在り方検討が必要。

答 ①多様な主体が安心して住み続けられる住環境の整備や、防災、環境、地域コミュニティ活性化のための環境づくり等に向けて取り組んでいく②住宅市街地の一定エリアを対象に地域の方々の意見を聴きながら街区内道路の在り方等を多角的に検討していく。

Q&A

一般質問 (要旨)

議員紹介は
こちらから



全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

田中 えりか (国民)



オーバーツーリズム対策

問 ①世界基準は地域住民優遇と高付加価値戦略。外交の相互主義に基づき多言語表示等、過剰なおもてなしの是正を②路上喫煙禁止等ピクトグラムの活用推進を。

答 ①千代田区公共サインマニュアルに基づき、他事例等踏まえ研究対応していく②国の統一ピクトグラムと連携していく。



360度多面人事評価の導入

問 ①組織風土改善へ特別職も対象に360度多面人事評価と連動した仕組みを②客観的に納得のいく匿名性をどう担保するか。

答 ①特別職も対象予定だが、人事評価への活用は慎重に判断②匿名性は重要な前提事項であると認識し、実施に向け準備。

えごし 雄一 (公明)



身寄りのない人への支援

問 ①区内での「身寄りのない人」の実態は。また、その方々が抱える様々な問題への認識は②担当課職員等を対象に勉強会や情報共有を行い、相談・調整窓口の強化を③身元保証を含めたサポートサービスを行う事業者との契約をめぐりトラブルが多発しているが、区は事業者や区民に注意喚起しているか④本人が意思決定できない際にも確認が可能な情報登録事業を本区でも行っては⑤区の支援ガイドラインを策定する等、支援体制の構築を。

答 ①行政による把握は難しいのが実態。家族や親族の援助がないが故に自身のみで対応せねばならない現実があると認識②より適切な対応には勉強会や情報共有は大変有効。内容や手法を今後検討③注意喚起等は行っていないが、情報共有等を図り関係機関と十分に連携していく④他自治体の実施状況等の把握を行い鋭意研究⑤まずは先行事例の研究を重ねる。

永田 壮一 (自民)



経済安全保障とEV戦略

問 ①区設置のEV用急速充電器は区外の利用者が多い。公平性の観点から実費程度の課金を②活用が年間20件程度のEVへの補助金を今後も続ける意味は。日本が先進的技術を保有する水素活用の推進を③経済安全保障への区の認識は④風ぐるまのEV車両は多少高額でも国産を使うべき。

答 ①社会情勢や近隣区の状況等も踏まえ課金を検討②国や都の制度を参考に車両価格に応じた減額補助も検討する。また、庁有車を燃料電池車に切り替える等、より一層導入促進に努める③国の取組みに従い区民の生命・身体・財産の安全確保等に努める④国内企業の動向を注視し道路状況等に適した車両を選定していく。



出所: 議員本人提供

はやお 恭一 (自民党)



区民重視の意思決定手続きを

問 日比谷エリマネ社へ区有財産を無償で長期貸付する重要案件を、定められた意思決定手続きを経ず決定、議会報告もせず執行した件。百条調査の尋問で当時の区長は遺憾の意を述べたが現副区長は「首脳会議という一つの会議を飛ばしたに過ぎず行政の意思決定は文書主義。財産価値が200億であろうと1000億であろうとあまり関係ない」と証言。今も同じ考えか。

答 行政事務の遂行は文書主義が原則。首脳会議を経ないことは書面による事案決定を無効とするような瑕疵ではない。

本区の収益毀損状態の改善を

問 日比谷エリマネ社の純利益は年間約6000万円。本来得るべき区の収益を毀損していることをそのままにしている理由は。

答 上位計画に基づく地域のまちづくり実現に資するもので区の収益は毀損しておらず運用変更は考えていない。

小枝 すみ子 (声)



「教育と文化」宣言とまちづくり

問 ①宣言内の「首都機能と共存」に対し講じた施策は②都市再開発において皇居や文化財等の価値が軽視されていないか。

答 ①策定中の文化財保存活用地域計画で示していく②地域特性を踏まえた将来像や地区別まちづくり方針に沿って進める。



出所: 千代田区

不祥事と情報公開

問 ①事情聴取を受けた職員と知りながら再発防止業務を担当させていたのか②弁護士への相談時期と報酬額は。昨年9月の捜査開始初期から相談していたのでは。

答 ①当該職員はあくまで職責に基づき業務を遂行②制度を利用し昨年11月以降に相談し、要綱に規定の額を支払っている。

大坂 隆洋 (自民党)



高齢者施策の現状と課題

問 ①高齢者数増が見込まれる中、高齢者施策の基本的な考え方は②世論調査で高齢者施策の満足度が低いことへの見解は。

答 ①地域包括ケアシステムの深化・推進を基本目標に定め取組みを進める②若年層の回答が満足度の低さに影響。様々な場面で生の声をすくいあげ、真に必要な支援、満足度を高める取組みとしていく。

成年後見制度利用支援事業

問 ①第二期成年後見制度利用促進計画を踏まえ区の実施の成果と課題は②司法書士・弁護士等への成年後見等申立書類作成報酬を助成に加えるよう提案する。

答 ①社会福祉協議会と連携し、親族等による申立てが困難な場合の区長申立事務、制度利用に係る費用助成を実施。今後も制度利用促進のため関係者間の連携強化や周知が重要と認識②他自治体の実施状況や本区のニーズを踏まえ研究していく。

Q&A

一般質問 (要旨)

議事録は
こちらから

全文は、区議会ホームページでご覧になれます。また、2次元コードから録画映像にアクセスできます。

岩佐 りょう子 (次世代)



年金制度への理解促進

問 ①制度を正しく理解せず未納者や請求漏れが増えることへの課題認識は②社会保障制度の理解促進について見解は③若い世代への社会保障教育を推進すべき。

答 ①区における未納率は12.5%であり課題と認識②社会保障制度は国民生活を支える仕組みであり関係機関と連携した理解促進が必要。広報等で更に分かりやすい内容での周知を進める③厚労省のマニュアル等も活用し理解促進を図っていく。

社会的養護の推進について

問 ①児童福祉法を踏まえた社会的養護への見解は②区内にない児童養護施設、乳児院との連携施設をどのように考えるか。

答 ①乳児院や児童養護施設への入所措置等は都が実施しており都区の役割分担が重要②区は養護施設退所後の支援を担う当事者として施設訪問等で情報共有を図る等、都と積極的・緊密に連携している。

牛尾 こうじろう (共産党)



奨学金返済に悩む若者への支援

問 ①区は今年度から教育ローンの利子補給を行うが、年齢で区切らず大学に通う子を持つ全ての世帯を対象に②奨学金の利子補給や返済が大変な若い世代への支援、区独自での給付型奨学金の創設を。

答 ①全ての子どもの教育費を対象に創設し年齢も決定したが、教育ローンの利用実態等を踏まえ制度運用を検証していく②国等の諸制度があることから当面は本制度を実施しつつ国の動向等を注視する。

不正行為再発防止策について

問 議員の職員への働きかけは住民の切実な要望も含み、対応記録を幹部職員全体が認識できれば住民サービス向上につながる。対応記録の位置付けは住民要望や議員活動の情報公開という観点も必要では。

答 個人情報の取扱い等には十分に注意しつつ住民サービスの向上にも役立てられるよう対応記録の取扱いを検討していく。

のざわ 哲夫 (維新)



区の生成AI活用状況とRAG(検索拡張生成)への取組み等について

問 千代田区民と千代田区に関わる人、企業に対する生成AIに関し①RAG等への区の見解は②EBPM対応統合会計ソフト導入の検討は③RAG活用で区民が幸せになる取組みを④世界で稼げる産業の支援と財サービスの自治体取引所創設の検討は⑤生成AIで効率化し、住民に利益還元を⑥全職員の生成AI対応リスクリングとDX化組織導入の検討は。

答 ①業務効率化に寄与する可能性があるため、今後検討していく②EBPM導入に向け研究に努めたい③RAG活用可能性に関する提案と受け止め技術の活用動向等を注視④新規ビジネス支援は進めているが、取引所開設は困難⑤効率化で生み出したマンパワーを職員が担うべき業務に振り向けることで住民還元したい⑥スキル向上を図っており、組織は適切に対応していくべきものと考えている。

入山 たけひこ (次世代)



食品ロス削減推進計画について

問 区は3月に食品ロス削減推進計画を策定、区民の意識は高いがフードバンク等の活用等はさほど多くない。区内企業や大学とどう連携し目標達成に取り組むか。

答 10月に民間事業者や大学とロス削減フォーラムを開催し、意識醸成の取組みやフードテックの研究等も進め、食品ロス量を2030年度までに2000年度比半減を目指す。

区内の観光資源の維持と利活用

問 ①千鳥ヶ淵の桜は老木が多く維持が困難、調査検討の状況は。国との協力や濠ののり面更新は可能か②北の丸公園の旧江戸城区域の活用へ都や国と意見交換を。

答 ①今年度は真田濠の更新に着手。今後も他10か所の計画を策定し着実に桜を更新。のり面更新も国に協力を働きかける②11月に観光協会と区、国の共催でインバウンド向けの事業を実施。今後も歴史的経緯を踏まえ取組みを検討していく。

林 則行

(自民党)



マンション給排水設備の耐震化

問 震災で建物が漏水すると住民は避難所へ向かい収容人数等が限界になる可能性がある。マンション給排水設備の耐震化助成について区の見解は。

答 建築物と同様に構造的な評価等の検討が肝要。国の方針等も参考に研究が必要。



災害時の被災者相談の取組み

問 ①司法書士等の専門的団体との災害時協定は②災害時協定について区の方針は。

答 ①専門的団体は区内医師会や歯科医師会、薬剤師会等の医療関係団体等との協定がある②自治体で解決できない課題に対し民間活力を導入すべく物資供給や応急復旧等多方面で協定締結を進めている。

岩田 かずひと (次世代)



越境入学不正申請問題について

問 ①区に不正がないならば「越境入学不正あっせん」は虚偽の報道。訴訟等の手段を取るべき②区は報道をどう受け止め、調査はしているのか。今後の見通しは。

答 ①区の不正を報じた内容ではないため訴訟は考えていない②報道にあった申請を確認したところ適正な事務手続きであった。今後も適正な運用に努めていく。

ハラスメントについて

問 ハラスメントは良くない行為であるが本会議や委員会でのやり取りにまで当てはめるべきではない。官製談合事件ではむしろ議員と職員の必要以上の親密さが原因であったと考えるが、区の見解は。

答 調査で議員や上司のハラスメントの影響が確認され、職員と議員が極めて近い関係にあったことは議員の指摘に通じる。議会と職員の関係に留まらず、再発防止策と組織風土改革に取り組んでいく。

定例会 活動報告

常任委員会では、区長提出議案4件のうち2件を審査しました。議案の審査経過等をご紹介します。
なお、審議結果は12ページをご覧ください。

常任委員会

企画総務委員会

区からの報告5件は以下のとおりです。

「**指定管理者施設に関するモニタリングについて**」は、令和5年度に実施した区立図書館、九段生涯学習館、スポーツセンターの経営財務モニタリングの報告がありました。

質疑の中で、モニタリングは5年に一度実施していること、今回モニタリングを行った施設において大きな問題は確認されなかったこと、業務の改善点等は、月次の区と指定管理者との会議等にて話し合わせ、検討していること等が確認されました。

「**会館施設予約システムのリニューアルについて**」は、インターネットにより施設利用に係る手続きを来庁不要で完結できる環境を整備しており、12月の本稼働を予定している等の報告がありました。

質疑の中で、区民館等以外の他の区施設も含めた予約システムとするためには、登録要件を標準化する必要があり、今後BPR（業務改革）を進めるなかで総合的な予約システムに展開できることを目指し運用していくこと等が確認されました。

「**ふるさと納税サイトによる寄附受付について**」は、10月1日からふるさと納税サイトを通じて区外在住者から区への寄附金を受け付ける等の報告がありました。

「**千代田区公共施設等総合管理計画(素案)について**」は、現在改定作業を進めているところであり、パブリックコメントを実施した上で、12月に改定していく予定である等の報告がありました。

質疑の中で、人口推計上、今後区内の人口は増加することが見込まれるが、施設整備に当たっては、現実の人口の動向、全体の傾向や内訳も見ながら考えていくこと等が確認されました。

「**令和6年特別区人事委員会勧告について**」は、特別区人事委員会より、職員の給与等の報告及び勧告等が行われたことの報告がありました。

文教福祉委員会

議案2件のうち主な議案の審査経過は以下のとおりです。

「**千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例**」は、国民健康保険法の一部改正により、被保険者証が廃止されることに伴い、規定を整備するとともに、救急患者として医療機関を受診した被保険者等に係る保険料について、徴収猶予が可能な期間の特例を定めるものです。

〈審査経過〉

マイナ保険証の普及については、区としても国の方針に付随しながら推進しているが、保険証が廃止になっても、取得を強制するものではないこと。マイナ保険証のメリットとしては、医療機関等からより多くの適正な情報に基づいた総合的な診断や適切な処方を受けられ、医療費控除に係る申請手続きの簡易化が図られること。保険証の更新については、区として一人ひとりに丁寧に対応する相談体制を整えていること等が明らかになりました。

〈討論〉

【反対の意見】

本条例改正は、現行の国民健康保険証を廃止し、国民健康保険加入者にマイナ保険証への移行を半ば強制するものと言わざるを得ず、国民や医療機関からの不安の声がある中で、現行の保険証を廃止すべきではないため、反対する。 【牛尾】

【賛成の意見】

本条例改正は、全国的な制度改正に対応するために必要な条例改正であるため、本議案には賛成する。 【池田】

その他、「**千代田区立富士見わんぱくひろば条例を廃止する条例**」を審査しました。

環境まちづくり委員会

区からの報告2件は以下のとおりです。

「**幹線街路補助線街路第55号線の都市計画変更について**」は、①東京における都市計画道路の整備方針において10年間で優先的に整備すべき路線を定めた事業化計画を策定しており、その際、都市計画道路として整備の必要性が確認できなかった見直し候補路線の補助線街路第55号線を、プリンス通りと貝坂通りを結ぶ東西道路と併せて計画を廃止すること、②今後都市計画審議会に報告の上、都市計画法第17条の手続き等を進めていく予定であること等の報告がありました。

質疑の中で、計画を廃止しても整備済部分に面する既存の近隣建物の高さや容積率に影響しないことが確認されました。

「**区立麹町仮住宅への永田町駅地下鉄連絡出入口整備について**」は、①麹町仮住宅への永田町駅地下鉄連絡出入口の新設の検討に当たり、現状の歩行者流動状況や混雑状況を把握し、整備の効果や今後の整備について検討を行うための調査を実施したこと、②その結果、4番出入口の混雑状況が緩和されるとともに、バリアフリールート の複線化でその利便性が高まるため、新設出入口の整備について効果が見込まれること、③区としては令和7年度に基本設計、令和8年度に実施設計、令和9年度から工事を開始し、令和14年度中に完成を予定しているが、東京メトロとの協議が前提であること、④地下鉄連絡出入口の設置及び維持管理にかかる費用負担、整備内容については、引き続き東京メトロと協議を重ねていくこと等の報告がありました。

質疑の中で、比較材料として赤坂見附駅と永田町駅の乗降者数が必要であること、近隣への迷惑が少なく、工事期間が短縮できる工法を十分検討していくこと等が確認されました。

定例会活動報告

特別委員会

デジタル・トランス フォーメーション 特別委員会

はじめに、デジタル提案活用制度の進捗状況について報告がありました。デジタル活用提案制度の目的は、地域が主役となり、地域の課題をデジタルの活用で解決することとしており、提案件数は95件あり、その中から庁内審査を行い、7件の提案を区民投票した結果、1,669票の投票があったという説明がありました。今後は、予算化の検討をしていくということでした。

次に、大妻女子大学と協定を締結し、連携して各取組みを実施することで、EBPM（証拠に基づく政策立案）及びデータサイエンスを推進していくことの報告がありました。EBPMの推進及びデータサイエンス分野向上に資する取組みや区職員向け研修への講師派遣、大学講義への講師派遣を予定しているが、具体の実施内容は今後協議し検討するとの説明がありました。

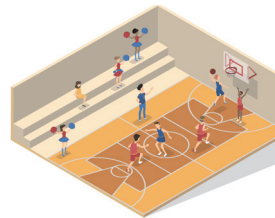
公共施設調査・整備 特別委員会

夏休み期間中の小学校体育館開放事業について報告がありました。

今夏は暑さ指数が31を超えて熱中症アラート警報が毎日のように発令され、子どもたちが外で遊ぶことが難しいため、冷房の効いた快適な環境で体を動かせる場を提供することを目的としたものです。

今回は試行で、8月8日から30日までの平日、午前9時から10時30分まで、小学1年生から6年生までを対象に、4校で実施されました。

質疑の中で、温暖化が激甚化しており、夏でも外に出ていけるような取組みや、季節を問わずに遊べる全天候型施設などを検討していく必要があることが確認されました。



文化継承・ コミュニティ活性化 特別委員会

令和5年12月と令和6年7月に開催された2つの勉強会について、振り返りと集約のため、委員間で意見交換を行いました。「神保町、本のまちの継承」については、商店街事務局の支援強化、駐車場附置義務の緩和、本のまちのイメージを残すような方策が必要等の意見がありました。

「震災101年と桜の継承」については、大学との連携、子どもたちへの伝承、桜が少ない地域にも増やしていく等の意見がありました。

次回以降は、今回提案された集約案をさらに深めていくことが確認されました。



契約にかかる 不正行為等再発防止 特別委員会

契約にかかる不正行為等再発防止策の調査を進めるに当たり、委員が要求した資料について、区から報告がありました。

再発防止検討組織の設置状況比較では、先に庁内の検討を行い、その結果に対して外部の委員に検証・確認を受けるという形で行った自治体や会議の途中から外部委員が参加し、一緒に検討した自治体があったことを確認しました。また、区が行った調査に伴う弁護士への依頼事項では、調査委託内容や費用、契約時期等を確認しました。

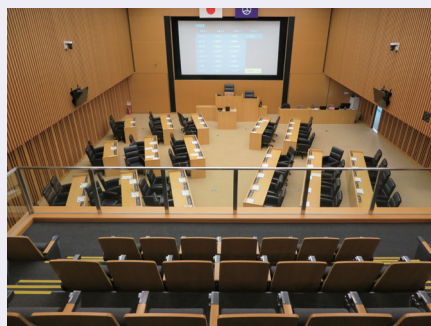
各委員からは、今後優先的に取り組む事項やその進め方について様々な意見が出たため、正副委員長が整理しながら、引き続き精力的に調査を進めることを確認しました。

議会を傍聴して みませんか

本会議や常任委員会、議会運営委員会、特別委員会は、どなたでも傍聴できます。

千代田区議会ホームページで日程をご確認のうえ、区役所8階の議場傍聴席、委員会室へお越しください。

取材等で撮影や録音をご希望の場合は申請が必要です。開会前に時間の余裕をもって区役所7階の区議会事務局で手続きを行ってください。



予算・決算特別委員会

全議員で構成する当委員会に審査を付託された2議案の審査経過及び結果は次のとおりです。

「令和6年度千代田区一般会計補正予算第2号」は、「幼稚園給食」及び「新型コロナウイルスワクチン接種対策」の各事業に要する経費の追加として、1億6,274万5,000円を予算計上するほか、「(仮称)四番町公共施設整備」について、資材及び労務単価高騰の影響等に伴い、債務負担行為を新たに追加するものです。

質疑を終了し、採決の結果、賛成全員により可決すべきものと決定しました。

「令和5年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について」は、多岐にわたる分野の調査が必要なことから、企画総務、文教福祉、環境まちづくりの3つの分科会を設置し、詳細な調査を行いました。その後、総括質疑で多数の事項の質疑が行われ、次のような意見発表がありました。

〈討論〉

【反対の意見】

病児保育の整備や带状疱疹ワクチン接種助成、小規模事業者への新たな融資制度、区役所の一部女子トイレに試行で生理用品を設置、緊急通報システムの携帯電話への導入の具体化など、区民の要望を反映した施策もあったが、反対する理由の第1に、暮らしや零細事業者を直接支援する施策は極めて弱かった。第2に、神田警察通り整備や二番町地区計画など、再開発とまちづくりにおいて、住民の合意形成の不十分さが浮き彫りになった。第3に、区民が住み続けたいという願いに背を向けている。第4に、国民健康保険料の値上げを抑制する努力は見られるが、対応は不十分である。区民が住み続けたいとの願いに応えることを求め、反対する。 【牛尾】

委員会において、ある議員より官製談合の疑いを指摘されていたにも関わらずそれを否定してきた千代田区だが、今年1月にその指摘が事実であることが明らかになった。その後も99%以上という高い落札率が多く存在しても、「問題ない」と質問を一刀両断する答弁。とても開かれた区政とは思えない。せめて、事件の後は襟を正し、再検証するくらいしてもよいのではないだろうか。越境入学不正申請問題をマスコミで報道されていても、徹底的に膿を出し切ろうという姿勢も見えない。最後まで詰め切れなかった自分の力不足もあるが、区は、隠蔽体質から抜け切れていないようにも見える。明らかにならない部分も多々あったため、反対する。 【岩田】

令和5年度は、官製談合による捜査が10月から半年にわたり行われた年であり、不祥事を本気で乗り越える姿勢、説明責任と情報公開が問われていたが、真摯な姿勢が見られず区民に大きな驚きと不信感を抱かせた。限られた時間・人員の中で、確実に事業を執行した職員に感謝するが、将来ビジョンが見えず、開かれた区政にはほど遠い。区長の再発防止会見はマスコミのみへの告知でその動画は配信されていない。第三者委員会の設置もされていない。まちづくりは、話し合いや代替案の検討ではなく、法的手段で強行、住宅政策や人口動向を踏まえた対応も不十分である。事件の真相解明を求める区民の願いに応える決算ではなかったことから、反対する。 【小枝】

【賛成の意見】

令和5年度は、千代田区第4次基本構想で掲げる「伝統と未来が調和し、躍進するまち～彩りあふれる、希望の都心～」を目指し、物価高騰が多大な影響を及ぼしている厳しい状況下で、区民の生活と健康を支える様々な施策を展開してきたことは評価する。具体的には、「出産・子育て支援」「病児・病後児保育室整備」「区立小学校、中学校、中等教育学校の学校給食費の補助」「物価高騰対策」「中小企業等経営支援」「食品ロス削減推進計画の策定」「DX、GXの推進」などの事業である。このたびの分科会審査、総括質疑において、区の前向きな答弁があった。令和7年度の予算にしっかりと反映させることを要望し、賛成する。 【えごし】

令和5年度は、地域活動や行事の再開が見られたものの、コロナ禍からの回復は途上であった1年であり、予算執行では、一部事業の見直しや取りやめなど臨機応変に対応したことが分かった。また、各事業の様々な課題が明らかとなり、「自転車通行環境整備」では、工事の遅延と追加費用及び執行残が確認された。「レシートを活用した消費喚起施策」では、区内23,700店において20億円超が消費され、一定の成果を上げたことが確認できた。令和7年度予算では、区の地域特性や区民の経済・生活環境、人口動態を的確に捉えるとともに、健全な財政を維持しつつも積極的かつ先進的な取組みによって区政が躍進することを期待し、賛成する。 【おのでら】

開かれた議会を実現するための運営上の課題の一つとして、終了時間に対する意識が薄いことを指摘し、時短への努力が必要だと述べた。本審査は極端に遅くならなかったが、多くの委員が意見を述べることを考えると、今後も時短のための更なる努力や工夫が必要である。次回以降も質問の繰り返し、望ましい答弁を求めるための執拗な質問の連続は避け、同時に理事者にも速やか、かつ簡潔に答弁することを引き続き強く希望する。また、義務教育において、教科と自主性の尊重や育成は分けて考えるべきなどの質疑の結果、区側に一定以上の理解があったものと評価し、賛成する。 【白川】

令和5年度は、新たな遊び場確保など子育て環境の充実やウォーカブルなまちづくりの拡充など、生活の質の向上に向けた取組みを推進したことを確認した。高齢者が最後まで住み慣れた場所で生き生きと生活できるよう、一層の「地域包括ケアシステム」の推進を求める。また、時代に即した新しい区民サービスの在り方を見直すためにも、事業を点検し必要に応じてスクラップ・アンド・ビルドすることを求める。最後に、観光事業の補助金の拠出の在り方について、事業効果を検証し、区の特性を生かした観光施策を推進することを求める。令和7年度に向けて、区民の生活の更なる向上をもたらす取組みの実現に向けて進めていくことを期待し、賛成する。 【春山】

令和5年度は、新型コロナウイルス感染症が5類感染症に移行し、アフターコロナの中、区政を正常に戻す1年間であったと感じている。決算審査では、官製談合防止法違反事件について、令和5年10月10日から区として対応を行っていたことが明らかとなった。また、総合的な交通施策や高齢者人口増に伴う施設整備計画、子どもの遊び場と児童遊園の整備計画などを確認した。今後、高齢者人口が2倍以上になるとの推計が出ている中、社会情勢の変化に対応するため、中長期的な視点に立った区の将来像について、各事業に納得のいく説明が求められる。そうした点について、令和7年度以降の予算編成では、改善されることを期待し、賛成する。 【池田】

討論を終了し、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。

本会議における討論

中東地域における人命保護と 平和実現を求める意見書

全文は、区議会ホームページで
ご覧になれます。
また、2次元コードから
録画映像にアクセスできます。



【反対の意見】

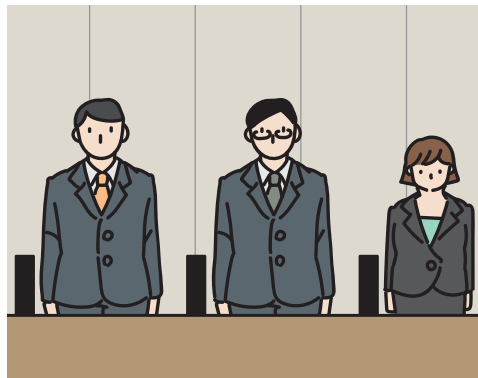
日本政府の支援を確認すると、イスラエルとパレスチナが平和かつ安全に共栄する2国間での解決を支持する立場として、基礎生活基盤の整備といった人道支援や食料・水等物資の供与が実施されている。こうした事実から、日本政府は中東地域の一刻も早い平和と自立と復興を実現するため、関係各国や国際機関と緊密に連携し、あらゆる外交努力が積極的になされていると考える。よって本議案に反対する。

【入山】

議会運営に関する変更点

決算審査時における 議員選出監査委員について

令和3年第3回定例会から、議員選出監査委員は各会計決算の認定についての議案に係る委員会及び本会議において、採決時にはいずれも退席することとしましたが、令和6年第3回定例会から従前に戻し、退席を求めないこととなりました。



政治家の寄附行為は 禁止されています

政治家（公職の候補者等を含む）が、選挙区内の人や団体にお金や物品を贈ることは、時期や理由を問わず禁止されています。

有権者が寄附をするよう勧誘または要求することも禁止されています。政治家（公職の候補者等を含む）が地域の行事、会合に出席することがありますが、こういった点にご留意ください。

これらの行為は全て禁止です！



ハラスメントに関する議員研修会を実施

令和6年8月26日、弁護士の太田雅幸氏を講師に迎え、ハラスメントに関する議員研修会を実施しました。

令和3年6月に「政治分野における男女共同参画の推進に関する法律」が改正され、政党その他の政治団体や国及び地方公共団体の取組みが強化されています。特にハラスメントについては、「議員と議員」「議員と有権者」「議員と職員」との関係などいくつかのケースが想定され、全国的に問題となっています。

本研修会では、近年の政治分野におけるハラスメントの動向や実際の裁判例等の解説を交え、地方議会議員が理解しておくべき様々なハラスメントについて、お話を伺いました。



委員会インターネット中継の 対象を全委員会に拡大



一部の委員会のみ先行してインターネット中継を実施していましたが、今定例会ではすべての委員会に拡大し、中継を試行実施しました。ライブ中継以外に録画映像の配信も行っていますので、ぜひご覧ください。

インターネット
中継



千代田区議会

〇 操作説明 〻 区議会トップへ

議会の生中継・録画映像を御覧いただけます。
千代田区議会
インターネット議会中継



生中継を見る
(ライブ映像)
会議の生中継を視聴できます。

会議の日程から選ぶ
(録画映像)
会議の日程から選んで視聴できます。

議員の名前から選ぶ
(録画映像)
議員の名前から選んで視聴できます。

録画映像の検索
(録画映像)
会議名、会議日、議員名、会派名、フリーキーワードの条件で検索を絞り込むことができます。



令和6年第3回定例会 会期日程 (会期:9月12日～10月17日の36日間)

月/日	本会議・委員会関連等日程	月/日	本会議・委員会関連等日程
9/12	議会運営委員会	10/3	予算・決算特別委員会 企画総務分科会
	本会議(会期の決定・区長招集挨拶等)		予算・決算特別委員会 文教福祉分科会
13	議会運営委員会		予算・決算特別委員会 環境まちづくり分科会
24	議会運営委員会	4	公共施設調査・整備特別委員会
25	本会議(代表質問・一般質問)		契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
26	議会運営委員会	7	デジタル・トランスフォーメーション特別委員会
	本会議(一般質問・議案の付託等)		文化継承・コミュニティ活性化特別委員会
	予算・決算特別委員会	9	議会運営委員会
30	企画総務委員会	10	予算・決算特別委員会(総括)
	文教福祉委員会	11	予算・決算特別委員会(総括)
	環境まちづくり委員会	15	企画総務委員会
10/1	予算・決算特別委員会		文教福祉委員会
2	予算・決算特別委員会 企画総務分科会		環境まちづくり委員会
	予算・決算特別委員会 文教福祉分科会	16	議会運営委員会
	予算・決算特別委員会 環境まちづくり分科会	17	議会運営委員会
			本会議(議案の議決等)



7月～9月の主な活動 (7月11日～9月11日)

月/日	日 程	月/日	日 程
7/22	千代田区平和使節団 議員派遣(～7/25) 【はまもりかおり議員 場所:沖縄県、鹿児島県】	8/26	議会運営委員会
			千代田区議会議員研修会
25	議会運営委員会	27	政務活動費交付額等審査会
	環境まちづくり委員会	29	環境まちづくり委員会
31	区民集会運営協議会	9/4	企画総務委員会
8/5	千代田区平和使節団 議員派遣(～8/7) 【入山たけひこ議員 場所:広島県】		文教福祉委員会
		5	〈令和6年第3回定例会告示日〉
8	千代田区平和使節団 議員派遣(～8/10) 【えごし雄一議員 場所:長崎県】		議会運営委員会
			契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会
		11	議会運営委員会



委員会で取り扱った請願・陳情 (7月26日～10月17日)

詳細は、区議会ホームページで
ご覧になれます。



請願・陳情名(受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和6年10月17日時点)
外神田一丁目再開発のエリア内の区有施設の情報共有に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発提案に関し事業者と地域住民間の調整を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地の再開発に伴う二番町地区計画変更に関連し、 区議会及び都市計画審議会において住民・事業者双方からの直接意見聴取等を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ本社跡地再開発に伴う二番町地区地区計画変更に関連して区議会及び 都市計画審議会の速やかな審議と反対住民の審議遅延行為に毅然とした対応を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
陳情書「二番町日本テレビ本社跡地再開発案に関して、地域住民の意見を出来る限り正確に 把握していただきたいこと」について。	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更について「陳情書」	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発の意思決定プロセスに対する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画変更に関する影響調査実施に関する陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発案に対する民意の把握を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田清掃事務所及び千代田万世会館の機能更新等に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
日本テレビ再開発による地域活性化を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目南部地区再開発の直近の事業計画案を示すよう求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
(1)二番町地区地区計画変更案に対し実施された都市計画法16条及び17条意見書の集計・報告の 正確さと公平さに関する調査、並びに(2)今後の再度実施される16条・17条に基づく意見書に おける募集手続き及び集計・報告の正確性と公正さを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

請願・陳情名(受付順に掲載)	付託・送付委員会	審査状況 (令和6年10月17日時点)
外神田一丁目南部地区再開発について、建築条例審査前に公共施設である清掃事務所について区民から意見を聞き大方の区民意見を取り入れることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区二番町地区計画変更に対する区議会環境まちづくり委員会並びに都市計画審議会の委員による充分なる検証実施の陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に関して、住民への詳細説明及び都市計画法第16条第1項の公聴会の開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の変更に係る説明会及び意見書の取り扱い方に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画の変更について、広く番町・麴町地域の地域住民を対象とする説明会を至急開催することを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画の早期変更を要望する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区地区計画変更においてサイレントマジョリティである子育て世代の意見を聞き、未来の子供たちのための前向きな議論を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
二番町地区計画早期変更に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
教育環境を守る要望書を区議会で受け止め、慎重に審議を進めること求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく「二番町地区地区計画の変更に係る説明会」および公告縦覧の実施前に資料修正・追加を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画法第17条に基づく二番町地区地区計画の変更に係る意見募集に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
外神田一丁目計画について手続きの調査を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
百条委員会の設置を求める陳情	議会運営委員会	継続審査
工事契約に関する議員の関与について真相解明を求める陳情書	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
不祥事に関する迅速な状況把握と再発防止に関する説明、区民をはじめ多様な人が話し合って決めるまちづくりの実現を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
東京都市計画地区計画 二番町地区地区計画(変更)に関する意見書についての調査と提出のやり直しを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事に関する陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通りⅡ期工事の一時中断を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
泥沼にはまった千代田区を助けるための調査をお願いする陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会 (議会運営委員会から送付替え)	継続審査
区が瑕疵のない真実を報告するよう指導を求める陳情書	議会運営委員会	継続審査
神田警察通り道路整備工事、2期工事の中断と整備内容の変更を求める陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察署通りの街路樹を守る会のメンバーに対する仮処分の申し立て件についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区議会議員政治倫理条例の制定を求める陳情	契約にかかる不正行為等再発防止特別委員会	継続審査
千代田区都市計画審議会における「二番町地区地区計画の変更」の採決の法的問題点の確認を議会から区に求めているいただく陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
学士会館再開発計画において近隣住民と実のある話し合いの場を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
異議申し立て中の神田警察通りイチョウ伐採についての陳情書	環境まちづくり委員会	継続審査
千代田区「道路の移動等円滑化の基準」の歩道の有効幅員について、東京都と同様、附則に「やむを得ない場合」の経過措置を設けることを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
都市計画審議会による「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の優先事項の確認と、実効性ある実施を議会から区に求めているいただく陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
特別区道千第836号の廃止に伴う陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
神田警察通り沿道整備推進協議会の委員を多様性と男女共同参画の視点から早急に見直すことを求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
生活支援課における夏季加算の検討についての陳情	文教福祉委員会	審査終了
精神障害者における障害者手当対象者の拡充についての陳情	文教福祉委員会	審査終了
障害者の住宅確保に関する千代田区の対応についての陳情	文教福祉委員会	審査終了
自転車道と歩道拡幅工事について4期、5期を早期に開始して下さい。	環境まちづくり委員会	継続審査
学士会館の保存活用事業及び附帯事業を速やかに進めていただくための陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
全障害者における障害者福祉手当対象者の拡充についての陳情	文教福祉委員会	審査終了
中・高生でもボール遊びができる場所を求める陳情書	公共施設調査・整備特別委員会	審査終了
千代田区議会議員の定数・報酬・政務活動費の削減を求める陳情(其ノ二)	議会運営委員会	継続審査
二番町地区計画附帯決議の実行についての陳情	環境まちづくり委員会	継続審査
「二番町地区地区計画の変更」の附帯決議の「全ての関係者が」話し合える場づくりの開催を求める陳情	環境まちづくり委員会	継続審査

議案の審議結果等

(令和6年第3回定例会)

可

(可決)

否

(否決)

○(賛成) ×(反対) 欠(欠席) 退(退席) 除(除斥)

議員名等 ※議員名の下段は、会派名略称		出席者数	投票数	賛成	反対	議決結果	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	議決月日
							西岡めぐみ	大坂隆洋	のぞわ哲夫	小枝すみ子	えごし雄一	米田かずや	牛尾こうじろう	岩佐りょう子	小野なりこ	池田とものり	はやお恭一	春山あすか	はまもりかおり	白川司	永田壮一	入山たけひこ	田中えりか	岩田かずひと	小林たかや	林則行	欠員	桜井ただし	秋谷こうき	おのでら亮	富山あゆみ	
							自民党	自民党	維新	声	公明	公明	共産党	次世代	次世代	自民党	自民党	維新	声	自民	自民	次世代	国民	次世代	自民党	自民党		自民	次世代	次世代	次世代	
議員提出議案	中東地域における人命保護と平和実現を求める意見書	24	23	4	19	否	×	×	×	○	×	×	○	×	×	×	×	×	○	×	×	×	×	○	×	×	議長は採決に加わりません	×	×	×	10/17	
	令和6年度千代田区一般会計補正予算第2号	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	10/17
区長提出議案	令和5年度千代田区各会計歳入歳出決算の認定について	24	23	19	4	可	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	10/17
	千代田区立富士見わんぱくひろば条例を廃止する条例	24	23	23	0	可	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	○	10/17
	千代田区国民健康保険条例の一部を改正する条例	24	23	19	4	可	○	○	○	×	○	○	×	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	×	○	○		○	○	○	○	10/17
報告	令和5年度千代田区健全化判断比率について																										9/26					
	後楽橋補修補強工事請負契約の一部を専決処分により変更した件について																										9/26					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										9/26					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										9/26					
	損害賠償請求事件に関し専決処分により和解した件について																										9/26					

◆ 千代田区議会議員 条例定数25名 現員数24名

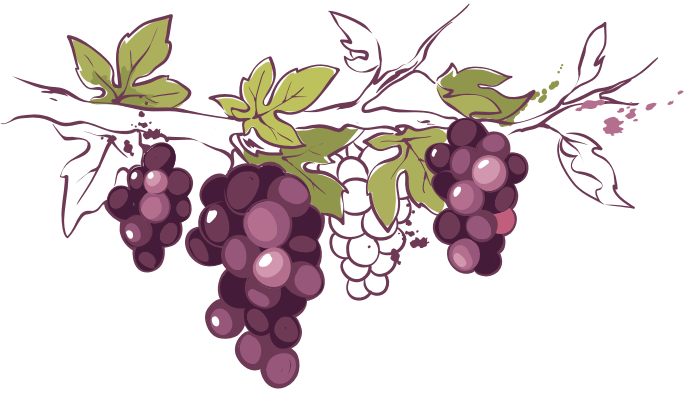
◇ 会派名 #次世代・都民ファースト・立憲の会(次世代)／千代田区議会 自由民主党(自民党)／千代田区議会自由民主党議員団(自民)／公明党議員団(公明)／ちよだの声(声) 日本維新の会千代田議員団(維新)／日本共産党(共産党)／国民民主党(国民)

お詫びと訂正

区議会だより第269号において、P2中頃の文章に一部誤りがありました。お詫びして訂正いたします。

【誤】調査はほぼ終了し、違反行為のあった職員等4人を懲戒処分した

【正】調査はほぼ終了し、違反行為のあった職員を懲戒処分した



令和6年第4回
定例会の主な日程

11/6(水)	告示日
11/13(水)	招集日
11/21(木)	代表・一般質問
11/22(金)	一般質問
12/3(火)	継続会

※日程は変更となる場合があります
※詳細は区議会ホームページをご覧ください

区議会だより編集委員会の構成

◎委員長 ○副委員長

◎岩佐 りょう子(次世代)
○富山 あゆみ(次世代)
西岡 めぐみ(自民党)
のぞわ 哲夫(維新)
えごし 雄一(公明)

牛尾 こうじろう(共産党)
はまもり かおり(声)
白川 司(自民)
田中 えりか(国民)

※音声版(CD)、点字版も作成しています。区内在住でご希望の方は、区議会事務局☎03-5211-4297(直通)までご連絡ください。区議会だよりは区議会ホームページでもご覧になれます。また、区議会の最新情報をお届けする「区議会公式X(旧Twitter)」も発信していますのでぜひご利用ください。

ホームページアドレス
https://gikai-chiyoda-tokyo.jp

メールアドレス
kugikai@city.chiyoda.lg.jp

公式X(旧Twitter)
@Chiyoda_Kugikai

ご希望の方には「ちよだ区議会だより」を郵送致します。区議会事務局までご連絡ください。